

民間社会福祉施設サービス推進費における 「サービス改善計画」等の取組を公表します。

サービス推進費と福祉サービス第三者評価

民間社会福祉施設サービス推進費の交付施設においては、平成 19 年度から、以下の取組を実施しています。

- 少なくとも 3 年に 1 度は第三者評価を受審（一部の施設を除く。）
- 第三者評価を実施しない年は、第三者評価の利用者調査手法を活用した「利用者に対する調査」を実施
- 第三者評価等の結果を施設での利用者サービス向上のための取組につなげるために、「サービス改善計画・実施状況」を各施設が作成・公表

＜サービス推進費とは＞

東京都においては、独自に民間社会福祉施設サービス推進費補助を行うことにより、民間社会福祉施設の創意工夫による自主的かつ柔軟な施設運営を支援し、都民ニーズに対応した福祉サービスの確保と施設利用者の福祉の向上を図っています。

公表している内容について

ここで公表しているのは、次のものです。

- 施設から東京都に提出された「サービス改善計画・実施状況」
- 「利用者に対する調査」の結果報告書（調査を実施した施設のみ。）

サービス改善計画は「第三者評価」又は「利用者に対する調査」の結果に基づいて作成されています。サービス改善計画は、受審（実施）年度の 3 月 31 日時点、実施状況は、翌年度の 4 月 30 日時点の情報です。

なお、「第三者評価」を受審した施設の評価結果は、「とうきょう福祉ナビゲーション」の第三者評価のページで公表しています。（事業所情報の詳細ページからも、「評価情報詳細」のボタンをクリックすれば見られます。）

※「サービス改善計画・実施状況」は、ホームページ及び当該施設内においても公表しています。

※サービス推進費交付施設においては「財務情報等の公表」の取組も行っており、第三者評価等の公表とあわせて、利用者への情報提供とともに、利用者サービスの更なる向上のために常に努力しています。

次のページより、「サービス改善計画」等を公表しています。

「福祉サービス第三者評価」等を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	大利根旭出福祉園	受審(実施)年度 (※)	令和元年度	施設番号	41-0045
-----	----------	-----------------	-------	------	---------

※第三者評価または利用者調査実施の年度

項目	評価結果に基づく現状分析 (令和元年度)	改善計画 (令和元年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和2年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定があった場合の実施状況 (年4月30日時点)
人材確保について	人材確保の厳しい状況を改善するために、施設の魅力を伝えるための情報発信方法に工夫が必要である。	ハローワークやフリーペーパー、新聞折込の他、SNS等を活用した求人活動等の取り組みを検討し、実施していく。	1 実施済み ② 実施予定 (令和2年8月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 情報発信手段や内容(表現方法)を検討し、実施する。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
ICTの導入について	利用者への手厚い支援が求められる中、業務負担を軽減するためのICT化を進め、情報共有を図っていく必要がある。	施設全体のICT化構想を検討し、段階的な導入に向けて取り組んでいく。	1 実施済み ② 実施予定 (令和2年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 職員からの意見を参考に効率化を図るために効果的なツールを検討していく。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
施設建設計画について	施設の建物設備の老朽化や利用者の状態にあった将来計画を策定し、実施に向けて取り組んでいくことが求められている。	総合的な将来計画が進んでいないことの原因を探り、早急に計画の検討・見直し等に取り組む方向性を示していく。	1 実施済み ② 実施予定 (令和2年12月ごろ) 具体的には以下のとおりです。 関係機関との連絡調整を実施し、次年度の計画へ反映できるように取り組む。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「東京都民間社会福祉施設サービス推進費補助金交付要綱」等の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。